

共感都市再生セッション

個性や質の視点から都市の未来を考えよう！

成熟社会に移行する中で「都市再生」の果たすべき役割も変化してきています。国土交通省では2024年11月から2025年4月にかけて「都市の個性の確立と質や価値の向上に関する懇談会」を8回開催し、短期的な収益性や経済合理性だけではなく、中長期的な視点や地域文化を育む視点から議論を行い、2025年5月に中間取りまとめ『成熟社会の共感都市再生ビジョン』を公表しました。本セッションでは懇談会での議論に込めた想いを関係者から語っていただくと共に、今後の都市再生について自由に意見を交わしたいと思います。

開催概要

日時 2025年8月19日(火)
18:30~20:30(開場18:00)
場所 シティラボ東京(現地30名)+オンライン
費用 無料(懇親会は別途会費5,000円)
主催 シティラボ東京
共催 国土交通省都市局
協力 一般社団法人アーバンリスト
一般財団法人都市みらい推進機構
昭和株式会社
株式会社サンシャインシティ

プログラム

1. オープニング
 2. 懇談会の概要説明
 3. トークセッション①
~懇談会での議論内容について
 4. トークセッション②
~中間取りまとめを踏まえた今後の都市再生について
 5. 質疑応答
 6. クロージング
- ※終了後、希望者による懇親会

申込 <https://empathic-city20250819.peatix.com> 締切: 8月15日(金)



登壇者

野澤 千絵

CHIE NOZAWA

明治大学政治経済学部 教授

大阪大学工学研究科大学院修了後、ゼネコンで開発計画業務に従事。その後、東京大学大学院博士課程修了。博士(工学)、東洋大学理工学部建築学科教授を経て現職。日本都市計画協会理事、国土省「都市の個性の確立と質や価値の向上に関する懇談会」座長をはじめ、国・自治体の都市政策にも携わる。主な著書は、『2030-2040日本の土地と住宅』(中公新書ラクレ)、『老いる家 崩れる街-住宅過剰社会の末路』(講談社現代新書)、共著では『人口減少時代の再開発』(NHK出版新書)など。

セッション①・②



村山 顕人

AKITO MURAYAMA

東京大学大学院工学系研究科
都市工学専攻 教授

2004年東京大学大学院工学系研究科博士課程修了。東京大学国際都市再生研究センター、名古屋大学大学院環境学研究科を経て、2014年から東京大学大学院工学系研究科に在籍。2024年7月から同教授。日本都市計画学会理事。最近は都市計画分野の気候変動対策の研究・実践に注力している。主な共著に『都市計画学』(2018年)、『都市計画の構造転換』(2021年)、『都心周縁コミュニティの再生術』(2021年)。

セッション①・②



吉江 俊

SHUN YOSHIE

東京大学大学院工学系研究科
都市工学専攻 講師

東京大学都市デザイン研究室講師、早稲田大学リサーチイノベーションセンター研究客員准教授。宮城県加美町や佐賀県多久市など、地方市町村のコミュニティ計画作成から、民間企業との共同研究まで幅広く取り組む。近年は早稲田大学キャンパスマスタープラン作成、東京都現代美術館「吉阪隆正展」企画監修などに携わる。著書に『〈迂回する経済〉の都市論』(2024)、『住宅をめぐる〈欲望〉の都市論』(2023)など。

セッション②



勝又 猛志

TAKESHI KATSUMATA

安田不動産株式会社 資産営業事業本部
資産営業第一部 第一課長

不動産デベロッパーである安田不動産にて、約20年間様々な業務に従事。現在は同社のまちづくり拠点のひとつである日本橋浜町にて、プロバティマネジメントチームを束ねながら、(一社)日本橋浜町エリアマネジメントの事務局として、同地域でのまちの交流促進やプロモーション活動、環境整備等の事業を担う。

セッション②



原澤 優介

YUSUKE HARASAWA

国土交通省都市局まちづくり推進課 企画専門官

2018年国土交通省に入省。都市局都市計画課、総合政策局地域交通課、文化庁文化資源活用課(出向)等を経て、2024年7月より現職。都市再生に関する法制度や企画立案を担当。

セッション①・②



モデレーター

YUSUKE HORIE 堀江 佑典

(一社) エリアマネジメントラボ 理事/
(株) サンシャインシティ エキスパート



右田 萌 MEGUMI MIGITA

シティラボ東京 マネージャー/
(一社) アーバンリスト 理事

